

帝キネ百々之助映畫

脚色者

監督者

撮影者

飛鳥井三郎

黒田大學

吉野花子

良之助

潤

市川百々之助

小國比沙志

古林

山下澄子

山

時江	主要役割	市川
嵐吉		東
野花		下
良子		澄
潤		千

娘お露

下郎傳内

飛鳥井三郎

黒田大學

吉野花子

良之助

潤

市川百々之助

小國比沙志

古林

山下澄子

山

潤

〔略筋省略〕

内容は題名が表示する通り忠孝に依つて生きが、作者は餘りにその狙ひ所に捉はれ過ぎた結果甚だ人間味の薄い、修身書式の物語に化し終らせて居る——が筋の運びには充分商賣氣があつてのクラクマックスも勿論をうした意味の手法として必要には相違ないが、おくれる動機が略筋してあるので、一寸力が弱かつた。石山稔氏の殺陣は極めて平易な監督振りを以つて終始した個所も少い。市川百々之助氏の三郎は忠孝美談にふさはしい人物を演じて居た丈の事で、大した見ごたえもない日々の助式の殺陣は敵討の場で突然飛出して来る娘のお露は慈愛深い師が敵と知つて泣出す件りで痛々しい演技を見せて、観客の眼を涙はせに居る。山下澄子娘の時江は今度はほんの助演に過ぎない役であつた。東良之助氏の大学の助役だけ無理がない。

〔山本綠葉〕

興行権値——小さないきを多數に持つ百々之助映画にはこうした修身書式のものの方が多い。少年の觀客を多く持つ百々之助は、絶好の映画である。(二月一日、大阪芦屋相生座、京都八千代館封切)